

川崎重工グループの研究開発の基本方針

川崎重工グループの企業価値を持続的に向上していくため、持ち得る技術を結集するとともに「技術のシナジー」の活用を追求して、競争力のある新製品・新事業の開発に、事業部門と本社技術開発本部が一体となって取り組んでいます。そして、各事業部門の「新製品・新事業」開発および将来の「新製品・新事業」の創出に向けた活動と、それらを達成するための「基盤技術」の育成・強化に、バランスよく取り組んでいます。

このような研究開発を通じて、「陸・海・空における安心・安全、クリーン、快適な移動・輸送手段の提供」、「クリーンエネルギーの創出」、「新興国を中心とした社会インフラの充実」、「自動化による高齢化・労働力不足への対応」の4つの社会価値を創出しています。

「技術のシナジー」創出の仕組み —マトリクス運営—

事業部門の技術者と本社技術開発本部のさまざまな分野の専門家がプロジェクトチームを組んで課題を共有し、常に全体最適を目指して「新製品・新事業」の開発に取り組んでいます。また、各事業部門が保有する技術的なコア・コンピタンスを本社技術開発本部が仲介して他の事業部門の製品へ相互に活用することで、技術の多面的な展開が可能となり大きなシナジー効果が発揮されます。

この「マトリクス運営」を実行することにより、当社グループ全体で「技術のシナジー」を創出し、さらなる企業価値の向上を目指しています。

- カンパニー
- 航空宇宙システム
 - エネルギー・環境プラント
 - 精密機械・ロボット
 - 船舶海洋
 - 車両
 - モーターサイクル&エンジン

本社技術開発本部が中心となって各カンパニーの保有する高度な技術をグループ全体へ横展開

マトリクス運営

事業部門と本社技術開発本部がプロジェクトチームを形成しさまざまな技術を全体最適化して「新製品・新事業」を開発

本社技術開発本部

- 強度
- 材料
- 流体
- 機械システム
- 燃焼
- 環境
- 電気
- 計測・診断
- 制御・ICT
- 接合・加工



2020

新たなバリュー創出のための強化ポイント

- サービス事業の強化
- システムインテグレーション
- ものづくり力の強化
- 開発プロセス最適化

情報基盤の強化

Topics: 水素コージェネレーションシステムの実証プロジェクト(神戸市)

当社グループは将来の中核事業の一つとして、2009年度から本格的に水素プロジェクトに取り組んでおり、既に高圧水素トレーラ、液化水素コンテナ、水素混焼ガスタービンは開発を完了し、営業活動中です。また、水素液化機、液化水素運搬船や液化水素基地の開発を推進しています。

また、市街地では世界初となる、ガスタービンにて純水素による熱と電気を供給するシステムの実証試験を(株)大林組と共に開始しています。国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構の事業において、水素と天然ガスを燃料とする1MW級ガスタービン発電設備(水素コージェネレーションシステム)から発生させた熱や電気を、近隣の4つの公共施設に供給し、地域コミュニティ内でのエネルギー最適制御システムの運用を検証していきます。

